

目 次

資料編

1	環境保全の歴史	1
2	附属機関の審議状況	10
3	市町村の公害防止及び環境保全に関する条例の制定状況	11
4	市町村の環境基本計画の策定状況	12
5	環境アセスメント実績	13
6	公害防止協定の主な内容	16
7	市町村が単独で当事者となっている公害防止協定	17
8	大気測定局一覧	19
9	二酸化硫黄の測定結果（平成17年度年間値）	20
10	二酸化硫黄による環境基準適合状況及び年平均値の推移	21
11	一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物の測定結果（平成17年度年間値）	22
12	二酸化窒素に係る環境基準適合状況及び年平均値の推移	23
13	一酸化炭素の測定結果（平成17年度年間値）	24
14	一酸化炭素に係る環境基準適合状況及び年平均値の推移	25
15	光化学オキシダント測定結果及び経年変化	26
16	非メタン炭化水素測定結果及び経年変化	27
17	メタン及び全炭化水素の測定結果（平成17年度年間値）	28
18	浮遊粒子状物質の測定結果（平成17年度年間値）	29
19	浮遊粒子状物質に係る環境基準適合状況及び年平均値の推移	30
20	降下ばいじん量の測定結果（平成17年度）	31
21	降下ばいじん量の年平均値の推移	32
22	降雨・降雪のpHの調査結果（平成17年度年間値）	33
23	平成17年度雨水成分分析結果	34
24	有害大気汚染物質の測定結果（平成17年度年平均値）	35
25	大気汚染に係る環境基準	36
26	平成17年度公共用水域水質測定計画の概要	37
27	水域類型指定状況	38
28	公共用水域の水質測定状況	39
29	公共用水域における要監視項目水質測定結果	87
30	水質汚濁に係る環境基準	88
31	水質汚濁に係る要監視項目	91
32	地下水測定年次計画	92
33	地下水水質測定結果	93
34	地下水の水質汚濁に係る環境基準	104
35	平成17年度水浴場水質調査結果	105
36	水浴場水質判定基準	106
37	十和田湖水質・生態系改善行動指針の概要	107
38	八郎湖水質汚濁対策の取組	108

39	休廃止鉱山鉱害防止工事一覧	109
40	土壌汚染対策地域の指定	115
41	騒音・振動の現況	117
42	ダイオキシン類の現況	121
43	環境ホルモンの現況	125
44	能代火力発電所立地に伴う環境監視調査結果	127
45	温泉利用状況（浴用・引用利用分）	128
46	温泉利用状況（多目的利用分）	129
47	公共下水道事業概要	130
48	流域下水道事業概要	131
49	下水道事業のあゆみ	132
50	農業集落排水事業概要	133
51	漁業・林業集落排水事業概要	136
52	市町村における分別収集の取組状況	137
53	処理人槽別浄化槽設置基数の推移	138
54	産業廃棄物処理施設数及び処理実績	139
55	県公害防止設備資金融資状況	140
56	環境影響評価	141
57	県の環境行政組織	144
58	市町村における環境保全（公害）担当組織、自然保護担当組織	147
59	環境用語の解説	148

本 編（別冊）

第1部 総説	1
第1章 本県の概要	1
第1節 自然特性	1
1 位置・地形	1
2 気象・気候	1
3 植生	1
4 動物	2
第2節 社会特性	3
1 人口	3
2 土地利用	3
3 産業構造	3
第2章 環境行政の課題と動向	4
第1節 環境行政を取り巻く課題及び施策の方向	4
1 地球環境問題への取組	4
2 アスベスト問題	5
3 化学物質対策	6
4 廃棄物の発生抑制と循環的利用、適正処理の推進	7
5 すぐれた自然の保全と継承	10

第2節	本県の環境施策の枠組み	10
1	環境基本条例の制定	10
2	環境基本計画の策定	10
3	環境基本計画の推進	11
第3章	環境の現状の概要	13
第1節	自然環境	13
第2節	快適環境	13
第3節	生活環境	13
1	大気環境	13
2	水環境	13
3	廃棄物	14
第2部	環境の現況及び環境保全に関して講じた施策	16
第1章	自然と人との共存	16
第1節	自然環境の体系的保全	16
1	自然保護思想の普及啓発	16
2	自然環境保全地域等の指定・管理	16
3	自然環境の保全管理	18
4	自然環境保全基礎調査	18
5	秋田県版レッドデータブック	20
6	野生鳥獣の保護	21
7	温泉の保護と利用	22
第2節	自然とのふれあいの確保	23
1	自然公園の保護と整備	23
2	森林の総合利用	29
第3節	農地、森林、沿岸域の環境保全機能の維持・向上	30
1	環境と調和した農業の推進	30
2	森林の保全	31
3	自然環境に配慮した漁業施設の整備	33
第4節	快適環境の確保	35
1	快適な都市環境の確保・創出	35
2	自然景観、歴史的・文化的遺産の保全	36
第5節	環境美化への取組	38
1	美しいふるさとづくり運動の気運の醸成	38
2	全県的な環境美化活動の輪づくり	38
第2章	環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の構築	39
第1節	大気環境	39
1	大気汚染の現況	39
2	大気汚染の防止対策	44
第2節	水環境	50
1	水質汚濁の現況	50

2	水質汚濁の防止対策	58
第3節	その他の公害の現況及び防止対策	62
1	騒音・振動の現況及び防止対策	62
2	悪臭の現況及び防止対策	64
3	鉱山鉱害の現況及び防止対策	65
4	土壌汚染の現況及び防止対策	66
5	アスベスト問題に対する対応	67
第4節	化学物質対策	69
1	化学物質による汚染等の現況と対策	69
2	化学物質による汚染防止対策	70
第5節	廃棄物対策、リサイクル	73
1	一般廃棄物の現況	73
2	産業廃棄物の現況	79
3	廃棄物処理対策	80
4	産業廃棄物税条例と県外産業廃棄物の搬入に係る事前協議等に関する条例	84
5	リサイクル製品認定制度	86
6	秋田県北部エコタウン計画	87
第6節	公害紛争の処理及び環境事犯の取締り	88
1	公害に関する苦情	88
2	公害に関する紛争の処理	90
3	環境事犯の取締り	90
第3章	地球環境保全への積極的な取組	91
第1節	地球温暖化対策	91
1	温暖化対策 美の国あきた計画	91
2	地球温暖化防止のための普及啓発等	92
3	秋田県新エネルギービジョン	93
第2節	オゾン層保護対策	94
第4章	環境保全に向けての全ての主体の参加	95
第1節	環境に配慮した自主的行動の促進	95
第2節	環境教育・環境保全活動の推進	96
1	環境教育の推進	96
2	環境保全に関する啓発事業	100
第3節	広域的な協力体制	101
第5章	共通的・基盤的施策の推進	103
1	環境影響評価の推進	103
2	環境マネジメントシステムの普及・推進	104
3	公害防止協定	108
4	公害防止設備資金	108
5	環境保全に関する主な調査研究	109